

1. トマト・レタスを核とした競争力の高い野菜産地の育成

(対象：利根沼田農業事務所旧普及指導課)

【評価できる点】

- 課題設定で SWOT 分析を活用し、何をすべきか戦略を明確化している。また、全て目標を達成している点は、評価する。
- 対象品目毎に目標項目を変えている点も、品目特性と生産者特性を的確に捉えている印象を受けた。
- 産地を守るという思いが強く感じられた。活動においても実証は場で実際に目で見られることはとても学びになると思う。
- よく現状を研究されていて、レタス発病は場の地図化など、蔓延防止に取り組む等活動の工夫がされている。
- 生産性のみならず取組成果として販売力の視点も入れた取組となっている点は、他の課題にはあまり見られず、産地競争力を強化するという課題として有効な解決手段になり得ることが期待される内容である。
- 関係機関と連携し、活動の確実性や効率性を高めている。特にトマトに関しては、養液土耕さらに生産者同士の交流を前提とした企画が多く設定されており、将来的な産地育成が進められている。
- 担い手の確保、技術向上に向けた技術交流、巡回指導など J A と協力して実績を上げている。
- 残された課題と今後の対応について、具体的に検証・検討されている。今後の活動や競争力の高い産地になることを期待する。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

【意見・要望】

根腐れや黒根に関して、結局特定作物の連作に根本的な課題があるのではないかと。連作化に対する課題はまだ続いていくとを感じる。

【回答】

ご指摘の通り特定作物の連作に根本的な課題があると考えており、本来なら輪作を勧める事が理想だと考えます。利根沼田地域のレタスは、大規模で輪作がしにくい事、利益を得るには効率化を重視しなければならない事が今の栽培の現状です。

今後産地が続くためには現状の対応だけでなく、緑肥利用や他作物との輪作を

更に進めていかなければならないと考えております。また、第三者認証のGAPの取得による販売環境の改善についても今後の課題として検討したいと思います。

【意見・要望】

残された課題にある「人手不足」「肥料高騰」は農政全体の課題であるが、産地としてどうしていくのか、今後の具体的な提案を期待したい。

【回答】

人手不足については、トマトでは現在行っている養液土耕栽培による施肥かん水の省力化や、スマート農業により効率化を図り、人手不足の解消を進めたいと考えます。

レタスでは、機械化が非常に進んでおり、圃場管理についても営農支援アプリの利用等も進んでいるので労働の見える化等をさらに進めながら人手不足の解消をしていきたいと思います。

肥料高騰については、堆肥由来の低価格肥料の利用や、レタスでは局所施肥技術の普及、また、GAPによる施肥管理及び在庫管理を進めることを検討したいと考えています。

2 活動内容に関すること

【意見・要望】

特になし